

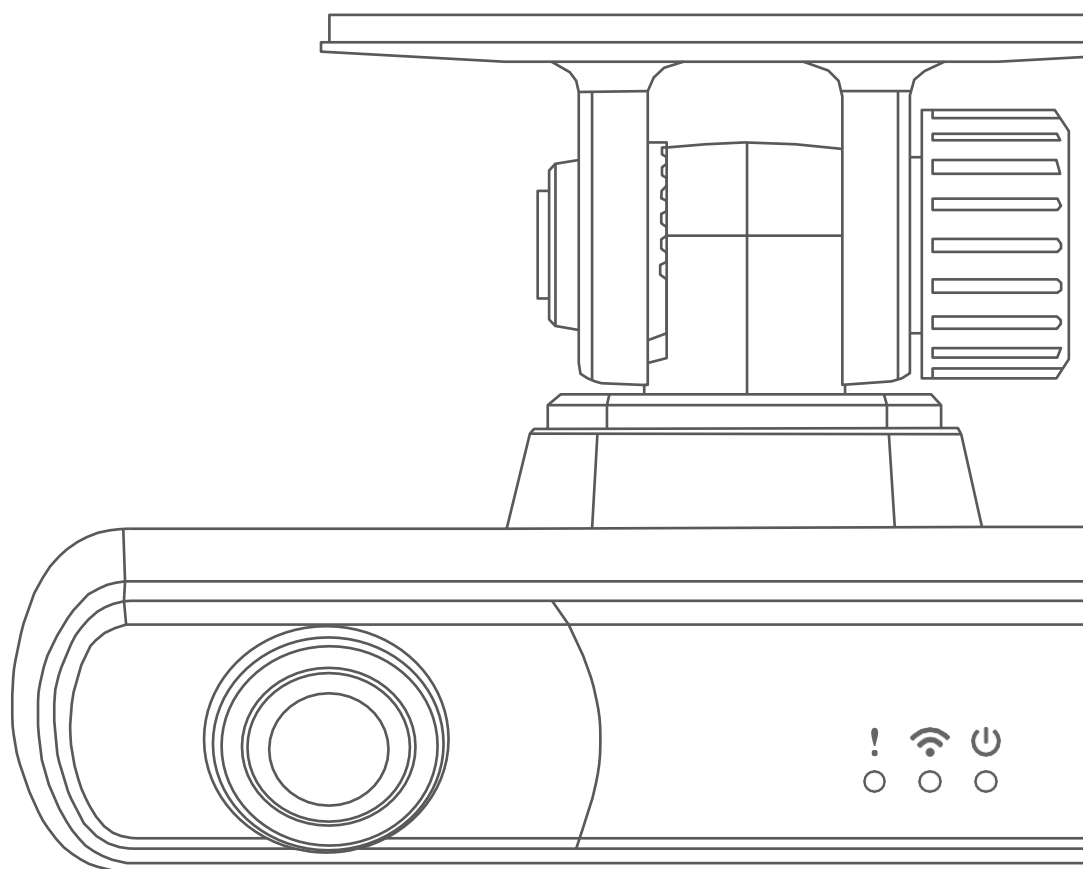
移動で
人を幸せに。



タクシードライブレコーダー4 取扱説明書

Taxi Drive Recorder
User's Manual

JV11-NW04A



V3.0

2024/4/4

目次

ご使用上の注意	2
同梱物の紹介	5
LED 表示内容	7
本製品を取り付ける	8
設定ツールをインストールする	11
本製品の設定を変更する	12
映像を記録する	14
解析ソフトをインストールする	15
記録した映像を確認する	16
確認した映像を保存する	19
保存した映像を再生する	21
ファームウェアを更新する	22
SD カードをメンテナンスする	23
製品仕様	24
故障かなと思ったら	25
アフターサポート	27

ご使用前に、こちらの「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また注意事項は誤った取り扱いをした際に生じる危害や損害の程度を、「警告」及び「注意」の2つに区分して説明しています。

警告：使用者が製品の取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度。

注意：使用者が製品の取り扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、又は物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。

警告

- 本製品は DC12V/24V 車両専用レコーダーです。12V/24V 車両以外では使用しないでください。火災や感電、また故障の原因となります。
- 本製品を分解したり、改造しないでください。火災や感電、また故障の原因となります。
- 故障した状態で使用しないでください。火災や感電、また故障の原因となります。
- 本製品内部や各種スロット（SD カード、SIM カード）、またコネクタ部に異物を入れたり、水をかけないでください。火災や感電、また故障の原因となります。
- 本製品内部や SD カードスロットに手や指を入れないでください。故障や怪我の原因となります。
- 運転中の視界を妨げる場所や、エアバッグ、運転操作に関わる場所に配線や設置をしないでください。事故や怪我の原因となります。
- 走行中に SD カードを抜き差ししないでください。事故や怪我、また本製品の故障の原因となります。
- 配線は高温部分を避けて行ってください。火災や感電、また故障の原因となります。
- 電源ケーブルを分解、または他の機器と接続しないでください。火災や感電、また故障の原因となります。

注意

- 付属部品は、本説明書で指示された通りに使用してください。
- 本製品は、本説明書で指示された通りに接続してください。
- 取り付け作業中に本製品に衝撃を与えてしまった場合は、新品に交換してください。
- 本製品は両面テープで固定します。取り付ける際は、取り付け面の汚れを綺麗に拭き取ってから取り付けてください。汚れなどがある場合、走行時の振動などで本製品が外れる恐れがあります。
- フロントガラスから取り外したステーは使い回ししないでください。
- SD カード及びSIM カードは指定以外の方向で差し込まないでください。故障や破損の原因となります。
- SD カード及びSIM カードは必ず本製品専用のものを用意してください。他の電子機器と共通のものを使用すると、データ破損や消失の原因となります。
- SD カードは消耗品です。また書き込み可能回数等製品寿命があります。半年から1年を目安に新品交換することをおすすめします。
- 本製品は電子部品を使用した精密機器のため、落としたり強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 電源投入中にSD カードを抜き差ししないでください。データ破損や消失、またSD カード故障の原因となります。

万が一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合などにおいて、弊社は本製品の作動有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

ご使用上のお願い

- 本製品は全ての状況において映像を記録することを保証するものではありません。
- 映像が記録されていなかった場合や記録された映像データが破損していた場合による損害、また本製品の故障や本製品を使用することによって生じた損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、信号機が点灯している場合でも点滅している ような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い影響により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。信号機の識別、記録に関する内容について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品で記録した映像は、その使用目的や使用方法により個人情報保護法に抵触する恐れがあります。またプライバシーなどの権利を侵害する恐れがあるのでご注意ください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 真夏などの炎天下では本製品が正常に作動しないことがあります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
- 本製品の仕様及び外観は改良のため、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

本製品の各部名称



- 1 車外撮影用カメラ**
車外前方の映像を撮影します。
- 2 マイク**
車内の音声を記録します。
- 3 光センサー**
夜間走行を判断します。

- 4 車内撮影用カメラ**
車内の映像を撮影します。
- 5 LED**
本製品の状態を表示します。
- 6 SD カードスロット**
SD カードを挿入します。
- 7 SIM カードスロット**
SIM カードを挿入します。
- 8 電源コネクター**
電源ケーブルを接続します。



- 9 USB 端子**
使用しません。
- 10 赤外線LED**
夜間の車内を撮影します。

- 本製品は正しい方向に取り付けてください。
- 電源ケーブル、SD カード、またSIM カードは正しい方法で取り付けてください。取り付けが誤っている場合、本製品の破損及び故障の原因となります。

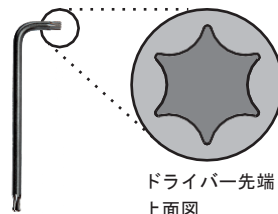
その他同梱物 / 付属品



設置用ステー
両面テープ式

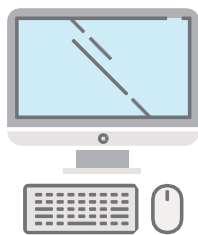


電源ケーブル（3.5m）
本製品一車両接続用



ヘックスローブレンチ
SDカードスロットカバー
付け外し用（初回購入時のみ付属）

その他ご用意いただくもの



パソコン（PC）
各種ソフト導入用 OS
: windows7 以上

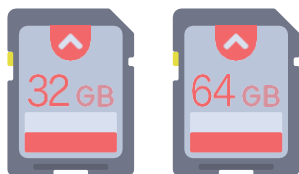
SDカード

ファームウェア更新用、1GB 以上



更新は頻繁に行うものではないため、本製品ご購入後すぐにご用意いただく必要はありません。

- PC が動作環境を満たしているか、製品仕様のページをご確認ください。（→23 ページ）



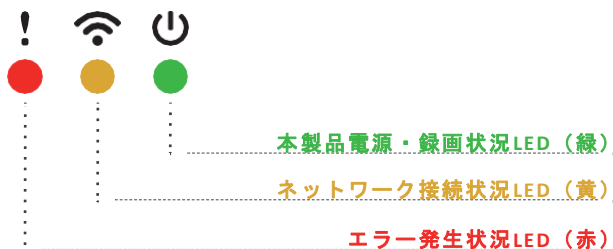
SDカード

常時録画用・イベント録画用
32GB / 64GB / 128GB

- SDカードは別途ご注文となります。
市販品をお使いいただくこともできますが、動作保証は致しかねますので、弊社から提供するSDカードを別途ご注文いただくことをお勧めいたします。
- SDカードの容量及び設定ツールの条件によって、本製品の記録可能時間が変動します。詳しくは設定ツールのページをご確認ください。（→12 ページ、5 番）

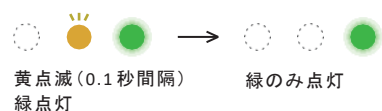


本製品の録画やエラー発生状況を、3つのLEDを用いて表示します。



起動中

全てのLEDが1秒間隔で点滅した後、緑のみ点灯すると起動完了し、録画が開始されます。



データアップロード中

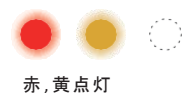
黄点滅と緑点灯から緑点灯へ移行すると、正常にデータがアップロードされます。



ファームウェア更新中(専用SDカード使用)

ご用意いただいた設定用SDカードを使用します。
赤点滅と緑点灯から赤, 黄点灯へ移行すると、ファームウェアの更新が完了します。

エラー発生時のLED表示内容



録画エラー

SDカードのフォーマットを行うか、SDカードの設定を再度確認してください。



SDカードエラー

SDカードが正しく挿入されているか、SDカードがロックされていないか確認してください。



マイクエラー

エンジンを再起動しても復帰しない場合は、弊社サポートセンターにお問い合わせください。



ネットワークエラー

エンジンを再起動しても復帰しない場合は、弊社サポートセンターにお問い合わせください。



センサー/GPSエラー

エンジンを再起動しても復帰しない場合は、弊社サポートセンターにお問い合わせください。

- 上記エラー以外で録画が開始されない場合は、「故障かなと思ったら」のページをご確認ください。(→24ページ)

1. 車両に電源ケーブルを配線する

同梱の電源ケーブルを、フロントピラーの内側もしくは沿線を這うように配線し、車両の各信号へ正しく接続してください。



ヒューズ (1A / 250V)	赤	バッテリー
	黒	GND (アース)
	青	ACC (アクセサリー電源)
	緑	スピードパルス
	茶	空車信号 12V
	紫	ブレーキ信号 12V
	黄	左ウィンカー信号 12V
	橙	右ウィンカー信号 12V
	水	CAN
	桃	CAN bus
	-	(使用しない)
	灰	トリガー出力 12V

- CANは必要な場合のみ接続してください。
- トリガー出力については、対応の機器（外部入力対応運行管理機器など）をお使いの場合は接続してください。使用しない場合は必ず絶縁してください。

2. 本製品にステーを取り付ける

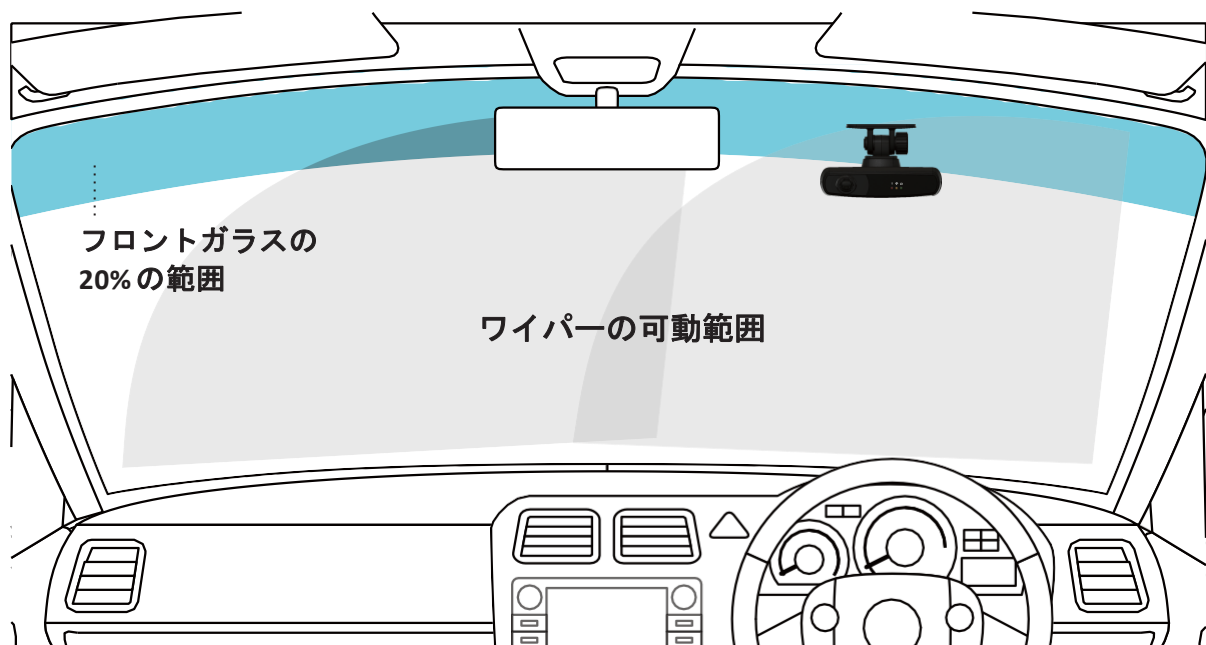
本製品の上面に付属のステーを取り付けます。ステーをはめた後、緩みがないよう「カチッ」という音が聞こえるまでスライドしてください。



3. 本製品を車両に取り付ける

本製品を、下記事項に注意しながら、車両に正しく取り付けてください。

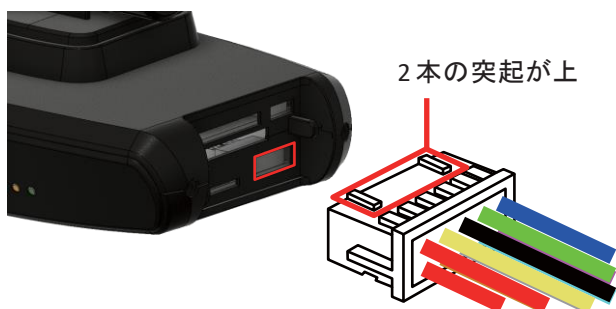
- ・ステータスはフロントガラスの上20%の範囲内に収める等、道路運送車両の保安基準第39条を遵守するように設置してください。
- ・雨天撮影時の雨雫映り込みを防ぐため、カメラがワイパーの動く範囲内に収まるよう設置してください。
- ・フロントガラス設置面の両面テープに気泡が入らないよう注意してください。粘着力が悪くなり、本製品の落下及び故障の原因となります。



取付位置イメージ（参考）

4. 本製品と電源ケーブルを接続する

配線した電源ケーブルと本製品を接続します。ケーブルのコネクタを正しい方向に挿入してください。



- 電源ケーブルのコネクタには向きがあります。誤った方向で挿入しないでください。本製品の故障の原因となります。

設定ツールを用いてSDカードをフォーマットする

本製品にて初めて使用するSDカードは全て、ご使用前に必ず設定ツールでのフォーマットを行ってください。設定ツールでのフォーマットを行わない場合、録画は開始されません。

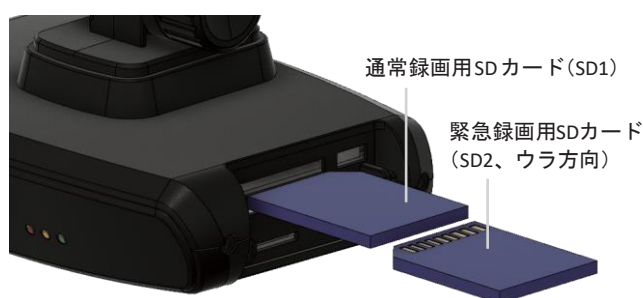
※設定ツールの詳細や使い方は「本製品の設定を変更する」をご覧ください。

5.SDカードを挿入する

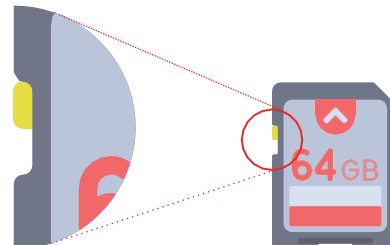
本製品の側面にあるカバーを取り外し、SDカードをスロットへ挿入してください。

「カチッ」と音が聞こえるまで押し込むと、本製品と接続されます。

- 各カードの挿入方向（表とウラ）には十分ご注意ください。故障の原因となります。



- SDカードを挿入する際、カードのロックスイッチがONにならないよう注意してください。ロックされた状態で挿入すると、映像を記録することができず、LEDによるエラーメッセージ（SDカードエラー）が表示されます。（右図のように、スイッチがロックされていない状態でご使用ください。）



6. 本製品にカバーを取り付ける

最後に、本製品の側面カバーをヘックスローブレンチを用いて取り付けて完了です。



挿入されたSDカードを取り出す際は、挿入方向に一度押し込むことで取り出すことができます。

設定ツール

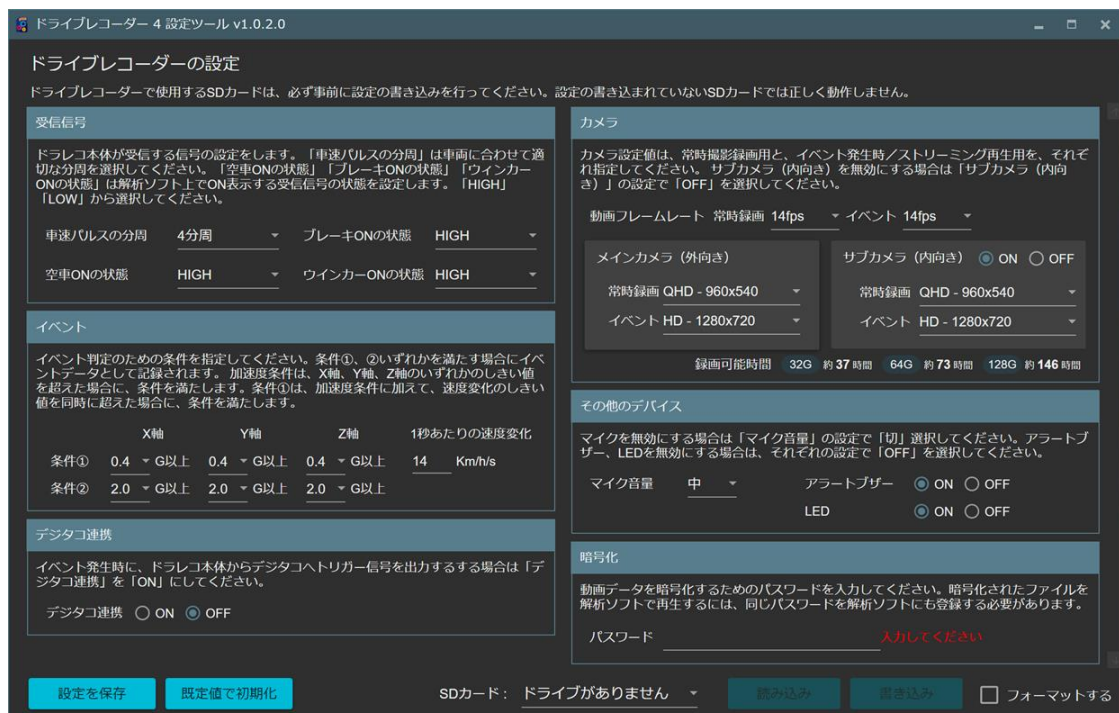
設定ツールを使うには、.NET Framework 4.7.2 が必要です。お使いの PC にインストールされていない場合は、下記 URL よりインストールしてください。

<https://dotnet.microsoft.com/download/dotnet-framework/net472>

1. 下記 URL より、設定ツールをダウンロードしてください。

<https://japantaxi.co.jp/products/drive-recorder-4/members.html>

2. PC 上にダウンロードされた "SDCardTool" をダブルクリックすると、下図のような画面が開き、設定ツールが使えるようになります。詳しい使い方は設定ツールの使用方法のページをご確認ください。(→12 ページ)



設定ツール画面

設定ツールを用いて、本製品におけるカメラやデジタコ連携等の設定条件を変更することができます。本製品で撮影に使用するSDカードをご準備ください。

1. 設定ツールを起動する

SDカードをカードリーダー等を使用してPCに挿入し、「設定ツール」をダブルクリックします。設定ツールが起動し、PCのデスクトップ上に設定画面が表示されます。

- 設定ファイルを書き込む前に、フォーマットを行ってください。

2. 受信信号を設定する

車両から送られる車速信号、実車信号、ブレーキ信号、ウィンカー信号等の受信信号の設定を行うことができます。

受信信号

ドラレコ本体が受信する信号の設定をします。「車速パルスの分周」は車両に合わせて適切な分周を選択してください。「空車ONの状態」「ブレーキONの状態」「ウィンカーONの状態」は解析ソフト上でON表示する受信信号の状態を設定します。「HIGH」「LOW」から選択してください。

車速パルスの分周	4分周	ブレーキONの状態	LOW
空車ONの状態	LOW	ウィンカーONの状態	LOW

- 信号のHIGHは12V、LOWは0Vです。
- 正しく設定されていないと、実際の車速やブレーキ情報などが誤まって解析ソフト上で表示される恐れがあります。

3. イベント判定条件を設定する

イベント発生時の録画条件を設定することができます。X,Y,Z 軸のいずれか、また速度変化のしきい値を超えると条件を満たし、イベント録画を撮影します。

条件は2つまで設定可能

イベント	X軸	Y軸	Z軸	1秒あたりの速度変化
条件①	0.4 ▾ G以上	0.4 ▾ G以上	0.4 ▾ G以上	16 Km/h/s
条件②	2.0 ▾ G以上	2.0 ▾ G以上	2.0 ▾ G以上	

4. デジタコ出力を設定する

本製品からデジタコに 12V のトリガー信号を出力することができます。その場合はデジタコ連携を ON にします。トリガー出力条件は、イベント判定条件が反映されます。

デジタコ連携

イベント発生時に、ドラレコ本体からデジタコへトリガー信号を出力する場合は「デジタコ連携」を「ON」にしてください。

デジタコ連携 ☐ ON ☒ OFF

デジタコ連携の設定

5. カメラを設定する

カメラの解像度と画質を変更することができます。解像度および画質をあげると、動画ファイルのサイズが大きくなるので、SDカードに録画できる時間も短くなります。

カメラ

カメラ設定値は、常時撮影録画用と、イベント発生時ノストリーミング再生用を、それぞれ指定してください。サブカメラ（内向き）を無効にする場合は「サブカメラ（内向き）」の設定で「OFF」を選択してください。

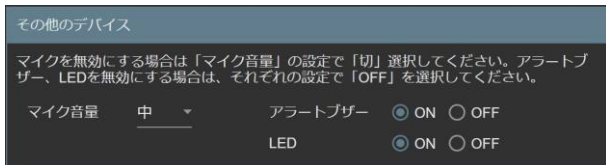
動画フレームレート 常時録画 14fps ▾ イベント 14fps ▾

メインカメラ（外向き）	サブカメラ（内向き） ☒ ON ☐ OFF
常時録画 HD - 1280x720 ▾	常時録画 HD - 1280x720 ▾
イベント HD - 1280x720 ▾	イベント HD - 1280x720 ▾

録画可能時間 32G 約 21 時間 64G 約 41 時間 128G 約 82 時間

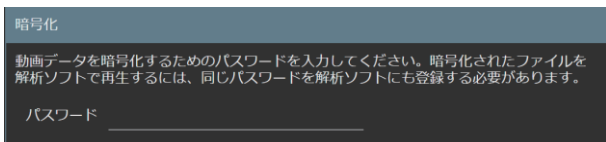
6. その他デバイスを設定する

車内用マイクの音量（感度）を調整することができます。また LED 表示の ON/OFF も設定することができます。



7. 暗号化パスワードを設定する

保存された動画データを解析ソフトで開く際に必ず必要となるパスワードを設定します。



8. SD カードに設定値を書き込む

設定条件の選択が終了したら、画面右下の「書き込み」をクリックしてください。SD カードに設定値が書き込まれます。また「読み込み」では SD カード内に保存されている設定条件を読み出し、設定ツール上に表示することができます。



設定の書き込み

初めて SD カードを使用する場合は、「フォーマットする」の欄をチェックしてから書き込みを行ってください。



「書き込みに成功しました」というダイアログボックスが表示されるので、OK をクリックします。問題なければ、SD カード内に設定ファイル "setting.ini" が生成されます。

- 暗号化パスワードを入力しない状態で「設定書き込み」ボタンをクリックすることはできません。

9. 本製品に設定を書き込む

設定ファイル "setting.ini" が入った SD カードを用意して、本製品に設定を書き込みます。SD カードが挿入された状態で正常に録画が開始されると、設定値が本製品に書き込まれます。書き込みが終了したら、エンジンを止めて本製品の電源を遮断します。

設定の書き込み開始から完了までの LED 表示は、通常のエンジンスタートからストップまでの LED 表示と同じです。詳しくは「映像を記録する」ページをご確認ください。(→14 ページ)

設定後に一度録画を行い、正常に設定されているかご確認ください。

- 設定ファイル "setting.ini" が本製品に入っていない場合、録画が開始されずに録画エラーとなります。設定ファイルが入った SD カードを用意し、再度本製品への書き込みを行ってください。

- 一度本製品に設定を書き込むと、暗号化パスワードは消去されます。暗号化パスワードを忘れた場合、動画データは再生できません。本製品に設定を書き込む前に必ず暗号化パスワードを控えておくことをおすすめします。

10. 設定内容を保存・初期化する

設定内容は、左下の「設定を保存」ボタンをクリックして保存することができます。

また作業の途中で保存した既定値に戻したい場合は、「既定値で初期化」ボタンをクリックして各パラメータの値を初期化することができます。



設定内容を保存

前回保存した設定内容に初期化

- 実運用での撮影及び録画を行う前に、正しく記録できているか確認してください。
- 本製品にSDカードが正しく挿入されているか確認してください。

録画を開始する

SD カードが挿入された本製品を車両に設置し、電源ケーブルを接続したら、エンジンをスタートさせて電源を投入します。約 60 秒後に映像の記録が開始されます。下記の LED 表示順序にて録画が開始されていることを確認してください。

1. 全LED点灯

エンジンスターツで、全てのLEDが同時に点灯します。



2. 全LED点滅（1秒間隔）

約 5 秒後、全てのLEDが1秒間隔で同時に点滅します。



3. 緑LEDのみ点灯

緑のみ点灯すると、本製品の起動が完了して録画が開始されます。



録画を終了する

エンジンを停止させると本製品の電源も遮断され、録画が終了します。下記の順序にて録画が終了されていることを確認してください。

1. エンジンストップ

エンジンをストップして、電源を遮断します。



2. 赤・黄LED点灯

赤と黄のLEDが点灯します。



3. 全LED消灯

全てのLEDが消灯したら、録画終了です。

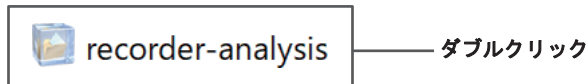


- 本製品に電源が投入されている際、SD カードの抜き差しをしないでください。データ破損や本製品の故障の原因になります。

1. 下記URLより、解析ソフトをダウンロードしてください。

<https://japantaxi.co.jp/products/drive-recorder-4/members.html>

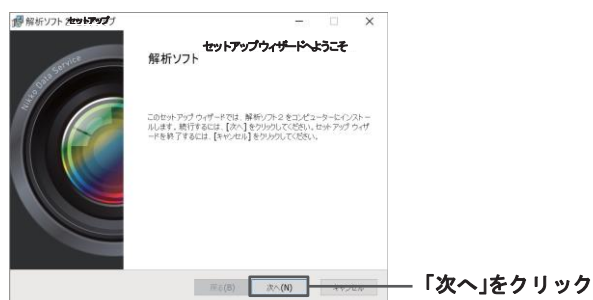
2. お客様の PC 上にダウンロードされた zip ファイル "recorder-analysis" をダブルクリックして解凍してください。



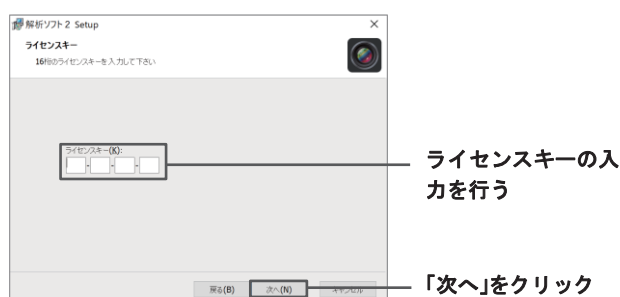
3. 展開したフォルダ内の "Setup.exe" をダブルクリックしてください。セットアップ用インストーラーが起動します。



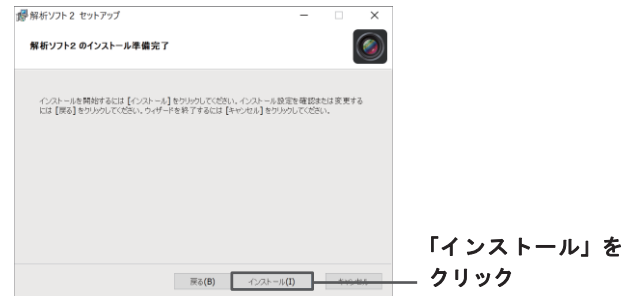
4. 「次へ」をクリックしてください。



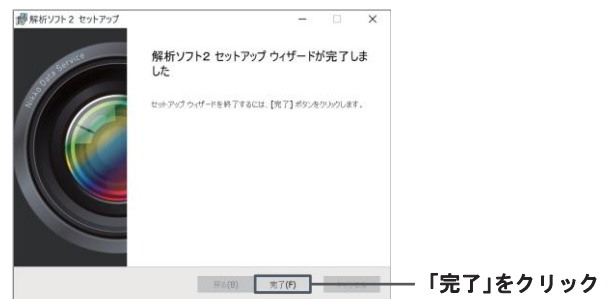
5. 16桁のライセンスキーを入力してください。(ライセンスキーは別途資料をご確認ください。) 入力が完了したら、「次へ」をクリックしてください。



6. 「インストール」をクリックしてください。ソフトのインストールが始まります。



7. 「完了」をクリックしてください。



8. 「デスクトップ上に【解析ソフト】のアイコンが生成され、ソフトが使えるようになります。詳しい使い方は解析ソフトの使用方法的ページをご確認ください。(→ 16 ページ)



解析ソフトを用いて、録画した映像を確認、保存、再生することができます。映像は解析ソフト以外の再生ソフトではセキュリティ上再生できない仕様となりますので、ご注意ください。

解析ソフト画面構成



解析ソフトの画面構成と各要素の説明:

- パスワードやイベントを変更します**: 設定アイコン (歯車) をクリックしてアクセス。
- 画面を拡大します**: 拡大アイコン (四角) をクリックしてアクセス。
- 車内映像**: 車内カメラからのリアルタイム映像。
- スピード及び撮影日時を表示します**: 映像下部に速度 (27km/h) と日時 (2017/06/17 14:05:37) が表示されます。
- スピード、ウィンカー、ブレーキ、実車、加速度センサ等のデータを表示します**: 下部のグラフとデータテーブルで表示されます。
- SD カード内動画や PC 保存動画再生、地図表示、また動画保存を行います**: 下部のメニューとボタンで操作可能。
- SDドライブ、PC保存動画のフォルダを選択します**: 「フォルダを選択」ボタンをクリックしてアクセス。
- 選択動画を再生します**: 「再生」ボタンをクリックしてアクセス。
- 動画再生や停止、音量をコントロールします**: 再生コントロールバー (再生、停止、音量スライダー等) を使用してアクセス。
- 車外映像**: 車外カメラからのリアルタイム映像。

センサグラフ



センサグラフの構成と各要素の説明:

- 実車を表示します (桃領域)**: 桃色の領域は実車の位置を示します。
- 【軸内容】**
 - 縦軸 (右):** スピード軸を表示します。
 - 縦軸 (左):** 加速度センサ軸を表示します。
 - 横軸:** 記録日時を表示します。
- 【グラフ内容】**
 - 青線:** 前後の G を表示します
 - 緑線:** 左右の G を表示します
 - 赤線:** 上下の G を表示します
 - 黄線:** スピードを表示します
- 動画の再生位置を表示します (赤い縦線)**: 再生位置を示す赤い縦線。
- 各センサデータ表示の ON/OFF を切り替えます**: 下部のチェックボックスで設定可能。
- グラフ横軸の時間表示単位を変更します**: 1h, 30min, 10min, 5min のボタンで単位を変更可能。
- グラフを矢印方向に移動させます**: 矢印ボタンでグラフを移動可能。

解析ソフトを用いて映像を確認する

1. SD カードをPCに挿入する

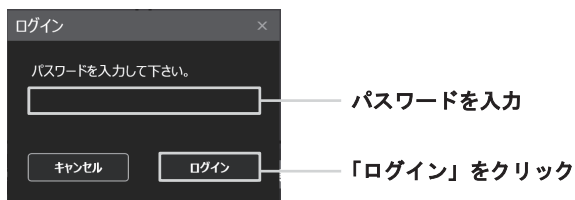
録画用 SD カードを電源遮断された本製品から取り出し、カードリーダー等を用いて PC に挿入します。

2. 解析ソフトを起動する

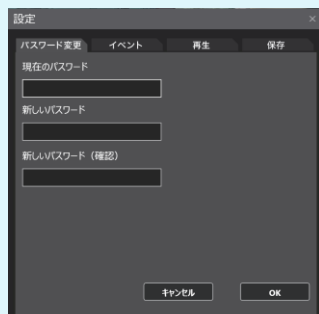
PC にインストールした「解析ソフト」をダブルクリックして起動します。

3. パスワードを入力する

解析ソフトを起動すると、パスワード入力画面に移行します。初期パスワードの「password」を入力してログインボタンをクリックします。パスワードは解析ソフト上の設定メニューから変更が可能です。



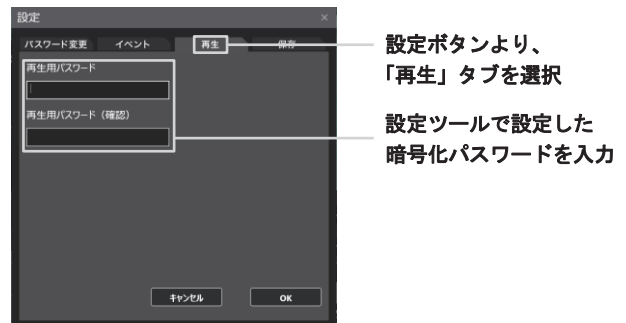
パスワードを変更する



解析ソフト画面右上の設定ボタンをクリックすると、パスワード変更タブにてパスワードを変更することができます。

4. 暗号化パスワードを入力する

右上の設定ボタンをクリックし、「再生」タブを選択します。暗号化された撮影データを再生するため、設定ツールで設定した暗号化パスワードと同じパスワードを入力します。

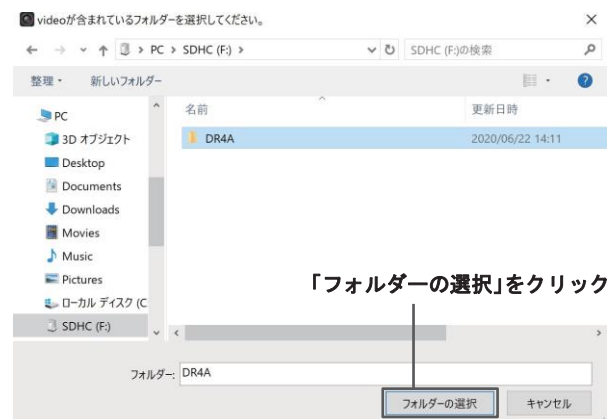


設定ボタンより、「再生」タブを選択

設定ツールで設定した暗号化パスワードを入力

5. 映像フォルダーを指定する

パスワードを入力すると、SD カードドライブを選択する画面に移行します。ここでドライブ内の映像フォルダーを選択し、「フォルダーの選択」をクリックします。



「フォルダーの選択」をクリック

6. 映像を再生する

SD カード内の日時の古い映像から自動再生されます。再生したい映像を、「SDカード」タブの画面で選択し、再生ボタンをクリックすると、指定の映像を確認することができます。

再生中の映像 日時情報

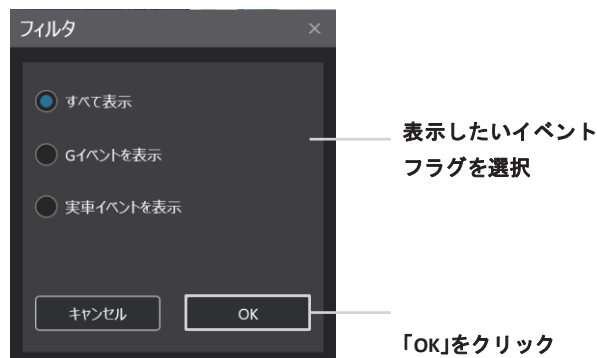


7. イベントフラグを表示する

イベントフラグは、事故場面等の目的箇所を素早く見つけるためのツールです。「SD カード」タブ内のイベント矢印をクリックして、イベントフラグを設定することができます。



設定画面にて、G イベントフラグ（緊急時の映像）、実車イベントフラグ（実車時の映像）を選択することができます。「全て表示」を選択すると、フォルダー内の全ての映像データを表示します。



8. バックアップを取得する

選択した映像ファイルのバックアップをとることができます。

2. バックアップをとりたい映像を選択する



9. 地図を表示する

「地図」タブを選択すると、現在の走行位置情報及び走行の軌跡が表示されます。

また本製品への電源投入直後は、地図情報の反映に時間がかかります。



【軌跡の内容】

- 紫線：位置情報のある全経路
- 青線：動画ファイルを読み込んだ経路
- 赤線：再生した経路
- 緑線：位置情報のない経路

10. イベント閾値(判定値)を設定する

画面右上の設定ボタンをクリックして、「イベント」タブを選択することで、G イベントフラグ表示の閾値（判定値）を設定することができます。



1. 保存範囲を選択する

映像の保存範囲を、2種類の方法で選択することができます。

日時で選択する

「保存」タブ内にて、保存する範囲の開始時刻及び終了時刻を直接入力、または上下矢印で選択して、日時を選択することができます。



グラフ上で選択する

センサグラフ内の黄色領域が保存範囲になります。領域の左端が保存範囲の開始時刻、右端が終了時刻となり、範囲を指定することができます。



2. 保存形式を選択する

「保存」タブ内にて、2種類の保存形式を選択することができます。



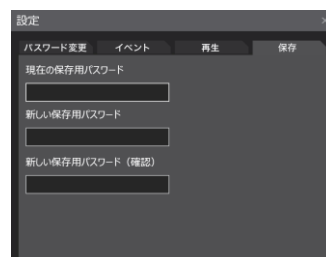
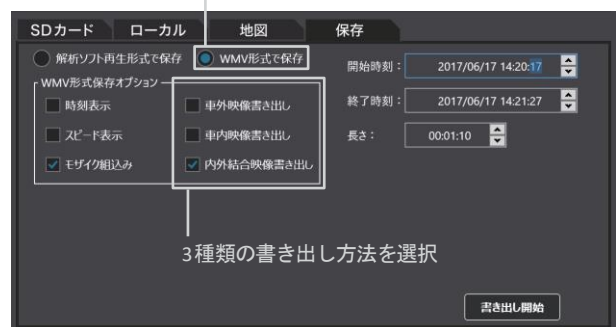
解析ソフト再生形式

解析ソフト上のみで再生できる形式 (.tmy) に変換されます。

WMV 形式

汎用ソフトで再生可能な形式 (.wmv) に変換されます。車内、車外、車内外結合映像の 3 種類を選択して書き出し、Windows Media Player で再生することができます。

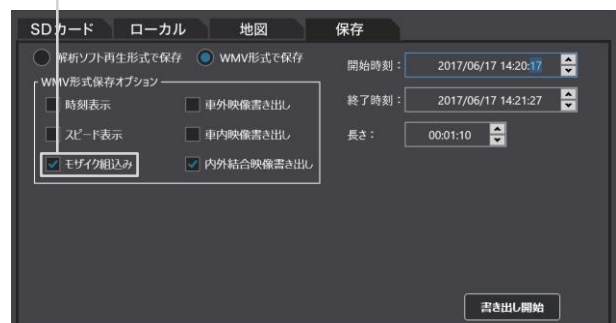
WMV形式で保存をクリック



WMV形式のモザイク処理

WMV 形式保存オプション内にて「モザイク組込み」をチェックすると、モザイク処理を施すことができます。組込み方法は次のページをご覧ください。

モザイク組込みをチェック



モザイクの組み込み方法



モザイク組み込みの範囲を指定する

車内映像の任意の箇所をドラッグし、組み込み範囲を指定します。



モザイク組み込みの位置を変更する

指定した組み込み範囲上にカーソルを合わせてドラッグすることで、組み込みの位置を変更することができます。



モザイク範囲の大きさを変更する

指定した組み込み範囲上右下にカーソルを合わせてドラッグすることで、範囲の大きさを変更することができます。



モザイクの指定を削除する

組み込み範囲上で右クリックを押すと、「削除する」ボタンが表示され、モザイクの指定を削除することができます。

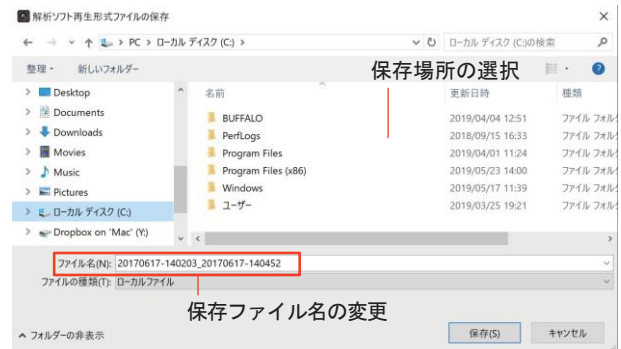


モザイク組み込み結果

- モザイクは車内映像にのみ適用できます。
- モザイクの位置は固定されます。対象が移動しても追従する機能はありません。

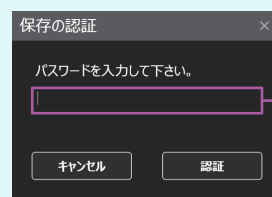
3. 保存を実行する

「書き出し開始」をクリックし、映像を保存する場所を選択します。また保存する映像ファイルの名前を変更することができます。「動画ファイルの保存が完了しました」の表示が出たら、動画保存は完了です。



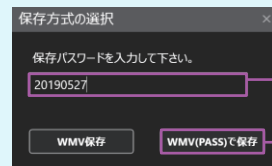
WMV 形式で保存する場合

書き出し開始をクリックすると、下記のような認証画面が表示されます。設定ボタンの「保存」タブで設定した保存用パスワードを入力してください。



保存用パスワードを入力します。

またWMV形式では、パスワードを設定して保存することもできます。再度WMVを再生する際に使用します。



保存時は任意の保存パスワードを入力して保存することもできます。

「WMV(PASS)で保存」をクリック

- 保存場所の容量を事前にご確認ください。
- 長い動画ファイル（10分以上）は、保存作業に2分以上かかる場合があります。分割して保存することをおすすめします。

解析ソフト再生形式

解析ソフトで再生すると、ブレーキや加速度センサデータなども同時に確認することができます。

1. 解析ソフトを起動します。
2. 右上の設定ボタンをクリックし、「再生」タブを選択します。
3. 暗号化された動画を再生するため、設定ツールで設定した暗号化パスワードと同じパスワードを入力します。



4. トップ画面に戻り、「ローカル」タブを選択します。
5. 「フォルダーを選択」をクリックし、解析ソフト再生形式ファイル（.tmy）が含まれているフォルダーを選択します。

- 解析ソフト再生形式ファイルを直接選択することはできません。

6. 選択された保存動画が表示されます。表示したい動画を選択し、「再生」をクリックすると、再生することができます。

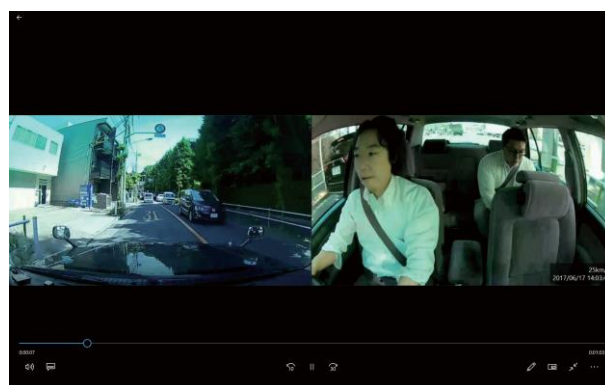
ローカルに保存されたファイルの表示



「再生」をクリック

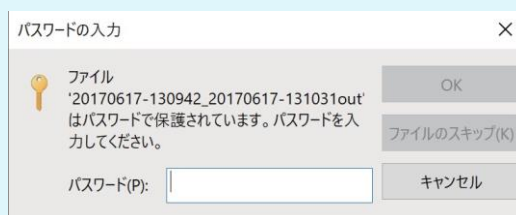
WMV 形式

WMV 形式では、Windows Media Player 上で再生されます。車内映像、車外映像、車内外結合映像はそれぞれ個々に保存されています。保存した WMV 形式のファイルをダブルクリックすることで、動画を再生することができます。社内外結合映像は下図のように再生されます。



車内外結合映像

保存用に任意のパスワードを入力した場合は、再生時に再度パスワードを入力してください。詳しくは「確認した映像を保存する」のページをご覧ください。（→20ページ）

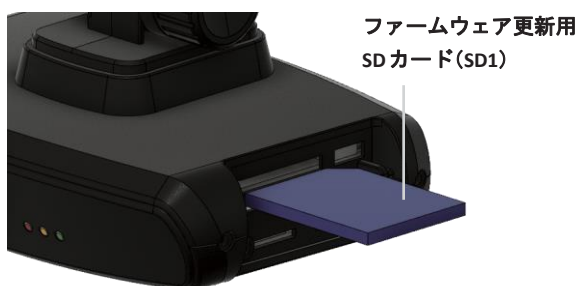


解析ソフト再生形式ではウィンカー、ブレーキ、実車、位置情報、車速、加速度センサデータを確認することができますが、WMV 形式では日時と車速のみを再生時に確認することができます。

ファームウェア更新専用SDカードを用いて、本製品のファームウェアを更新し、最新の状態で本製品を使用することができます。更新後は本製品に保存された録画設定条件がリセットされるため、設定条件の再設定をおこなってください。

ファームウェアの更新

1. ファームウェア更新用 SD カードを本製品（通常録画用 SD カード差込口）に差し込み、本製品の電源を起動します。



2. LED 表示が下記のように遷移し、赤・黄点灯へ移行すると、ファームウェアの更新が完了します。



更新は約10～20秒程で完了します。正しく更新されない場合は、電源を入れ直してください。

3. 本製品の電源を切り、LED の表示が完全に消えたのを確認して、ファームウェア更新用 SD カードを取り出します。

4. 本製品に保存された録画設定条件がリセットされているので、引き続き設定ツールを用いた再設定を行います。

録画条件の再設定

1. 設定ツール内画面右下の「読み込み」ボタンを押して、通常録画用 SD カード内の設定を反映するか、または新たに設定を変更した後、画面右下の「書き込み」をクリックしてください。SD カードに設定値が書き込まれます。

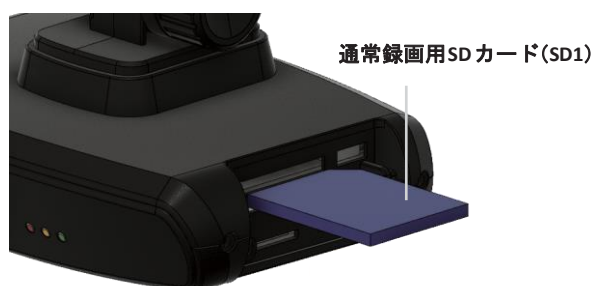


SD カード内の設定条件を読み込む

初めて SD カードを使用する場合は、「フォーマットする」の欄をチェックしてから書き込みを行ってください。



2. 設定を書き込んだ通常録画用 SD カードを本製品（通常録画用 SD カード差込口）に差し込み、本製品の電源を起動します。



3. LED 表示が下記のように遷移し、緑のみ点灯へ移行すると、設定完了となります。



赤、黄点灯（録画エラー）と表示される場合は、SD カードの再設定からやり直してください。



SD カードは消耗品です。また本製品は撮影時、常に録画映像を SD カードに書き込んでいます。SD カードによるエラーや寿命を延ばすため、定期的なメンテナンスをおすすめします。

フォーマットを行う

1. SD カードを PC の SD カードスロットに差し込み、設定ツールを起動します。



2. 画面右下の「フォーマットする」の欄をチェックし、「書き込み」ボタンを押してください。SD カードのフォーマットが始まります。



2.書き込む 1.チェックを入れる

フォーマットされた SD カードは、そのまま本製品に使用することができます。

SD カードの性能を最適に保つため、フォーマットは2ヶ月から3ヶ月に1度の頻度で行うことをおすすめします。

SD カードを交換する

- SD カードは消耗品となり、寿命や書き込み回数に限界があります。またフォーマットを繰り返しても寿命は回復せず録画漏れ等の原因となりますので、定期的に（半年から1年で）新品に交換することをおすすめします。

製品仕様一覧		JV11-NW04A
本体	本体サイズ	幅 122mm× 奥行き 83mm× 高さ 38mm
	電源電圧	DC10V～30V
	重量	約 350g
	動作温度	-10℃～70℃
カメラ	前方(車外)カメラ	有効画素数 1920×1080(FULL HD) 画角 H130 / V66 / D158
	後方(車内)カメラ	有効画素数 1920×1080(FULL HD) 画角 H130 / V66 / D158
録画	解像度	最大 1920×1080(FULL HD)
	記録レート	7/14/29FPS(LED信号対応)
	記録形態	常時録画+ イベント録画
	外部信号記録	ブレーキ、左右ウィンカー、車速、実車、3 軸加速度センサー、GPS、CAN 信号
	再生方法	解析ソフト
解析ソフト	推奨 OS	Windows10 ※WindowsXP はサポート対象外
	推奨動作環境	Core i3 相当以上 メモリ 8GB 以上
	主な機能	再生、一時停止、スロー再生、早送り、巻き戻し、コマ送り・戻し、音量調整、拡大、縮小、WMV形式/センサーデータ付き保存、地図表示
	セキュリティ	パスワードによる動画ファイルの暗号化
設定ツール	推奨 OS・動作環境	解析ソフトに同じ
	設定方法	SD カードにて設定
ポート	SD カードスロット	2 ポート (SD1: 常時録画、SD2: イベント録画)
	SIM カードスロット	1 ポート

症状	対処方法	参照ページ
電源が入らない	本製品に電源が供給されていない可能性があります。電源ケーブルの配線や本製品コネクタの接続状況を確認してください。本製品が直射日光などによる高温の場合は、温度を十分に低下させてから電源供給を行ってください。	8 ページ
録画が開始されない	SD カードがロックされていないことを確認し、正しい方向で本製品に挿入してください。また設定ファイルの有無を確認してください。また SD カードは定期メンテナンスが必要です。2〜3 ヶ月に 1 回のフォーマット、また半年〜1年でのSDカード交換をおすすめします。	9 ページ 13 ページ 22 ページ
音声は録音されない	本体のマイク部分が何かで覆われていないか確認してください。また設定ツール内のマイク音量が 切 / 小 になっている可能性があります。マイク音量を変更し、再度お試しください。	13 ページ
以前使用した SD カードはそのまま使える？	使えません。必ず SD カードをフォーマットし、全てのデータを消去してからご使用ください。	22 ページ
加速度センサのデータがおかしい	本製品がバックミラーなどに接触し、通常走行中に衝撃が加わっている可能性があります。本製品がバックミラーなどに接触しないよう設置してください。	9 ページ
どこに設置してもいい？	推奨設置位置はフロントガラス内側かつバックミラーから右に 50cm 程度離れた場所になります。それ以外の場所ではセンサーデータや車内外映像を正しく記録することができない場合があります。	9 ページ
LED が赤く光っているが故障？	LED が赤色に点灯するのは、本製品起動中・ファームウェア更新中、そしてエラー発生時となります。詳しくはLED表示内容のページをご確認ください。	7 ページ
エンジンを切っても電源がきれない	本製品と電源ケーブル間、また電源ケーブルと車両間での配線に誤りがある可能性があります。詳しくは配線のページをご確認ください。	8 ページ
録画は何時間可能？	SD カードの容量や、設定ツールの解像度及び画質の設定によって変化します。録画時間の目安は設定ツールにて表示されますので、ご確認ください。（下記もあわせてご参照ください。）	12 ページ

録画可能時間の目安（64GB の SD カードを使用した場合）		
解像度	動画フレームレート	録画可能時間
HD 1280*720	14fps	41H
	7fps	82H
QHD 960*540	14fps	73H
	7fps	146H

症状	対処方法	参照ページ
PCでSDカードが認識されない	SDカードが正しく挿入されていない可能性があります。一度PCからSDカードを取り出して再度挿入してください。カードリーダーを使用している場合は、カードリーダーを再接続してください。	—
解析ソフトがインストールできない	お使いのPCの動作環境を確認の上、ソフトのインストールページにてインストール方法をご確認ください。	23 ページ
解析ソフトのパスワードを忘れた	お手数ですが、ソフトを一度アンインストールし、再度インストールしてください。パスワードも初期化されます。	15 ページ
動画が読み込めない	参照しているフォルダー選択場所が誤っている可能性があります。解析ソフトの使い方のページにて正しい選択場所をご確認ください。また SD カード内のファイルが壊れている可能性があります。壊れたファイルは再生できません。SDカードをフォーマットし、ファイルを削除してください。	17 ページ
ソフトが起動しない	お使いのPCの動作環境が正しくない可能性があります。推奨動作環境をご確認の上、正しい環境で起動してください。	23 ページ
地図データが動かない	本製品に電源が供給されて録画がスタートしてから、GPS を更新するのに数分かかる場合があります。その間の映像データには地図情報は記録されません。	—
解析ソフトで動画が再生されない	動画を再生するために必要なパスワードが間違っている可能性があります。解析ソフト右上の設定メニューにて、設定ツールで設定した暗号化パスワードを再度正しく入力してください。	21 ページ
動画の音声再生されない	PC のスピーカー音量をお確かめください。また本製品のマイク音量が OFF になっている可能性があります。設定ツールにて本製品の設定値をご確認ください。	13 ページ
解析ソフト以外で動画を再生したい	解析ソフト以外では再生できません。解析ソフトから WMV 形式で保存した映像ファイルに限り、解析ソフト以外で再生可能です。	—
映像日時が撮影日とずれている	初回記録時は日時の更新に時間がかかるため、日時が一致しない場合があります。記録し始めてから数分の間、日時は更新されませんのでご注意ください。	16 ページ

保証について

- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- 修理に出す前に、もう一度「エラー発生時のLED 表示内容（7 ページ）」や「故障かなと思ったら（24 ページ）」をご確認ください。
- 出張による修理や点検は行なっておりません。
- 修理の受付はサポートセンターにお問い合わせください。
- 保証の対象となるのは、本製品、ステー、電源ケーブルのみとなり、消耗品類（SD カードやSIM カードなど）は保証対象外となります。また修理交換対応による交換品についても保証の対象外となります。予めご了承ください。
- 以下に該当する場合は保証の対象外となります。
 1. ご使用の誤り、及び不当な修理や改造、分解などによる故障及び損傷
 2. お買い上げ後の落下や輸送上の故障及び損傷
 3. 人的災害、自然災害、公害、塩害、異常電圧による故障及び損傷
 4. 車載以外での使用による故障及び損傷
 5. 保管やメンテナンス不備による故障及び損傷
 6. 故障の原因が本製品以外にあり、それを点検、修理した場合
- 修理交換対応によりお預かりしました故障品は返却致しかねます。予めご了承ください。
- 修理依頼に関してお客様から発送いただく際の配送料はお客様負担となります。予めご了承ください。

お問い合わせ先

 go-help-j@goinc.jp

 050-3183-8895

24時間 365日 受付中

取扱説明書・ソフトウェアのアップデート情報はこちら

<https://japantaxi.co.jp/products/drive-recorder-4/members.html>



移動で人を幸せに。